



主要な農作物の生育情報

平成25年度 第8号

(平成25年11月22日)

福島県農林水産部農業振興課



【水 稲】

収穫作業の盛期は、平年と比べ県平均では3日、会津地方では6日早まりました。

成熟期に2回の台風があり倒伏面積が増加しましたが、整粒歩合への影響は少ない状況でした。

カメムシによる着色粒は出穂の早い品種や山間部で発生が目立ちました。

なお、10月30日東北農政局発表の10月15日現在の水稲の作況指数は、会津105、中通り103、浜通り102、県全体104となっており、また、10月末日現在の県内のうるち玄米の1等比率は93.2%となっています。

表1 刈取進捗状況（農林事務所調べ※）

年 次	刈 取 状 況		
	始期 (5%)	盛期 (50%)	終期 (95%)
本 年	9.24	10.06	10.18
平 年	9.25	10.09	10.19
平年差	-1	-3	-1

※県平均

【野 菜】

1 秋冬にら

県北地方では、平年並みの9月下旬から捨て刈りが行われ、10月上旬から出荷が始まりました。

県中地方では10月下旬から捨て刈りが行われ、平年並みの11月上旬から出荷が行われています。

病害虫は、一部ほ場でネダニの被害が見られる程度で、現在のところ生育への影響は少ないです。

2 いちご

県北及び県南地方の促成栽培では、定植が平年並みの9月上旬から開始され、現在は頂花房の着色期を迎えています。出荷は11月上旬から始まっています。

病害虫は、一部でうどんこ病、ハダニ類、ヨトウムシ類が発生していますが、現在のところ生育への影響は少ないです。

3 秋どりブロッコリー

県南地方では、平年並みの10月初旬から収穫が始まり10月中旬には最盛期を迎えました。今年は生育前半（9月上中旬）の天候に恵まれ生育がやや前進し、平年よりも早く11月中旬には出荷終期となりました。

【果 樹】

1 りんご

果実肥大（果樹研究所、11月1日現在）を暦日で比較すると、「ふじ」は縦径が83.9mmで平年比100%、横径が89.8mmで平年比100%と平年並みの状況です。また、満開後日数による比較でも、ほぼ平年並みの状況です。

【花 き】

1 シクラメン

概ね順調な生育で推移しており、出荷は、平年並みの11月上旬から始まり、12月上中旬には

最盛期を迎える見込みです。病害虫は、ほとんど見られません。

2 ストック

会津地方の年内出荷の作型は、10月中旬から出荷が始まり、出荷のピークは11月上中旬でした。12月中旬頃まで出荷が行われる見込みです。

◎ 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.jp/fappi/index.html>）等を活用し、適切に対応してください。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7339

http://wwwcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/contents?CONTENTS_ID=11224